

ベトナム（電気炉工場）に対する省エネ支援事業を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託（国際エネルギー使用合理化等対策事業・省エネルギー人材育成事業）を受けベトナム鉄鋼業の省エネ推進のために、2016年1月25日～29日の5日間、以下の取組みを実施しました。

- (1) 電気炉工場の操業担当者・設備保全担当者を対象に日本の省エネ政策・省エネ手法・ISO50001の紹介
- (2) エネルギー多消費の電気炉1工場を対象に省エネ診断の実施
- (3) 鉄鋼業界関係者（経営幹部を含め担当者）およびベトナム商工業省（MOIT：政府関係者）を対象とした省エネ推進の最新技術を紹介するセミナーの開催



省エネルギー法制度に関するワークショップ (1/25)



現地調査-1 (1/26-27)



現地活動-2 (1/26-27)



調査結果に基づく提言(1/28)



セミナー(1/29)

ベトナム商工業省(MOIT)の要請を受け、エネルギー多消費の電気炉工場を対象に、以下の省エネ推進の支援を実施しました。

- (1) 日本の省エネ政策・省エネ手法等の紹介：電気炉工場の操業担当者・設備保全担当者を対象に、①日本の省エネ傾向・結果、②省エネ法・エネルギー管理士制度、③省エネ新技術紹介を紹介し、エネルギー管理の重要性と各種技術の理解促進を図りました。
- (2) 省エネ診断：電気炉工場において、操業・保全担当者、MOITの若手スタッフが参加のもと、省エネの余地と各種省エネ対策の提案を実施しました。（例：①スクラップ投入回数の削減、②炉容の確保、③炉外へのフレイム噴出の抑制、④スラグ分析、など）
- (3) 省エネ推進の最新技術を紹介するセミナー：リジェネバーナ、スクラップ予熱連続挿入電気炉、酸素付加バーナ取鍋予熱システムといった日本の省エネ技術と、これらの導入による省エネ効果（推定）を紹介しました。

今回はベトナム南部のホーチミン近郊の工場でしたが、今後、ハノイを中心にした北部の鉄鋼業に対して省エネ活動を展開していきます。